



母乳育児支援通信

～「赤ちゃんにやさしい病院」をめざして～



第 3 号と第 4 号では「母乳とくすり」と題して「もっと知りたい母乳のパワー！」
「くすりと授乳」について掲載いたしました。今回の第 5 号では早産や低出生体重児
などで治療が必要な赤ちゃんに対して母乳育児支援をどのように行っているかを知って
いただくために、5 階病棟の主に小児科未熟児室を紹介させていただきます。

1. 5 階病棟ってどんなところ？

5 階病棟は、整形外科・消化器科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・小児科と多くの
診療科が入る混合病棟です。

49 床あるベッドのうち、小児科は 19 床でその中に未熟児室 2 床が含まれています。

2. 未熟児室の入院対象は？

予定日より早く生まれた赤ちゃん（早産児）
や小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）、
出生週数や体重は問題ないけれど
生後何らかの疾患をもった赤ちゃんなど、
医療処置が必要となった赤ちゃんが入院します。



3. 入院中の母乳育児はどうしているの？

母乳中の脂肪は赤ちゃんの脳の発達、ホルモンの材料、脂溶性ビタミンの供給源になるな
ど早産児や病児にとっては、消化吸収しやすい高機能食品と言われています。このほかにも、
経腸栄養の早期確立や、壊死性腸炎にかかりにくくなる、慢性肺疾患・未熟児網膜症の重症
化を防ぐ、重症感染症の減少など、母乳には多くの利点があり未熟児室に入院する赤ちゃん
に対して早期から母乳を与えるようにしています。



<母乳育児の実際>

お母さんが当院の産婦人科病棟に入院している場合は、赤ちゃんの栄養の開始時期に合わせて産婦人科病棟へ連絡し、搾母乳を持ってきてもらうようにしています。

また、お母さんの体調をみながら3時間ごとの授乳に合わせて未熟児室に来てもらい授乳をしてもらっています。

他院で出生して赤ちゃんだけ入院となった場合は、お母さんの母乳が出てきたら可能な限り、母乳パックなどを使用してご家族に持参してもらっています。

お母さんが退院した後は自宅で搾乳を継続していただき、母乳パックへ保存し面会時に持参してもらいます。



早産や呼吸障害などで入院している赤ちゃんはすぐに口から哺乳ができないことがあります。その際は、栄養チューブを用いて搾母乳やミルクを与えます。

口からの哺乳が可能になったら、カップ哺乳を行っています。

カップ哺乳を行う理由としては、哺乳びん授乳を初めから行なうと哺乳びんの乳首に慣れてしまい乳頭混乱が生じ、お母さんから直接母乳を吸うときにうまくできなくなることもあるためです。

4. 直接授乳ができるのはいつ頃から？

口から母乳やミルクを摂取できるようになるためには、吸綴・嚥下・呼吸などの協調運動がしっかり確立されている必要があり、この運動が可能となる時期は、一般に週数が32～34週頃と言われます。未熟児室では、目安として34週を過ぎて、呼吸や循環が落ち着いていれば直接おっぱいを吸わせることができるようになります。



5. 未熟児室でやっていること

カンガルーケア

カンガルーケアは、赤ちゃんとお母さんやお父さんが肌と肌を密着させて抱っこをして過ごすケアです。

赤ちゃんの呼吸が安定する、お母さんの母乳の分泌が良くなる、親子の絆が深まるなどの効果があります。



母乳育児支援

母乳育児が確立されるように搾母乳の使用やカップ哺乳、直接授乳の仕方など母乳育児に関する支援を行っています。



臨床心理士の紹介

臨床心理士がお母さんを始め、ご家族の相談にのっています。不安なこと、気がかりなことをお聴きし、少しでも気持ちが軽くなるようにお手伝いをさせていただきます。



マザーリング

赤ちゃんの退院間近に母児同室を行い、授乳や赤ちゃんのお世話に慣れ、退院後お母さんが安心して育児ができるように支援するために行っています。



退院支援

入院している児に応じ、退院後の望ましい療養環境を整えるためケースワーカーと支援を行っています。



6. 新病院におけるNICU（新生児集中治療室）開設に向けて

今年7月に開院する新病院にはNICUが開設され、現在の未熟児室2床からNICU6床（オープン時3床）、GCU（新生児治療回復室）3床へと拡大されます。これに伴い、県北地域における低出生体重児を中心とした新生児治療が現在より可能となります。看護スタッフもさらなる看護実践能力の向上のため、現在仙台赤十字病院NICUで研修をさせて頂き、入院される赤ちゃんやその御家族に対し、充実した看護を提供できるよう準備をすすめています。また、母乳育児が円滑にすすむようその御家族に合わせたケアを考えていきたいと思っています。

文責：本院5階病棟 三浦たつえ

「母乳育児」一問一答

このコーナーでは、「母乳育児」に関する皆様のギモンにズバリ回答したいと思います。

今回とりあげるのは、こちら！

① 自分では母乳育児を一生懸命やろうとしているのに、姑女や小姑などに「母乳が十分に出ないのにミルクをあげなくていいの？赤ちゃんがそんなじゃ育たないんじゃないの？！」と言われ悲しくなり、ミルクを足してしまう。おばあちゃんたちにも母乳のメリットを伝えてほしい。
(1ヶ月検診の母乳育児支援アンケートから)

② 今のおばあちゃんたちはミルク全盛期、だっこのも抱き癖がつくと否定されて育児をしていた方が多いと思います。現在は抱き癖は医学的根拠はないとされており、赤ちゃんが泣くのは当たり前で、ミルクも、安全な水の確保が容易な日本では問題は少ないですが、世界的には、安全、安心な水の確保はけっして簡単ではありません。なにより牛由来のものですし、本来は同じ種の母乳が一番適切で、ミルクはあくまで母乳代用品であり、必要などきのみの使用にしたいと思います。母乳は赤ちゃんだけでなく、お母さんにも体の回復、疾患の罹患率の減少など疫学的に影響することが報告されています。しかし、母乳育児を維持することはけっして簡単ではなく、特に出産直後は頻回授乳が必要で、生活面、心理面での家族の支えが必要です。血縁関係のある同性の応援はお母さんにとっては一番のパワーになると思います。なかなか理解が得られない時は、母乳育児支援を進めるチームのメンバー、産婦人科、小児科外来などで相談してください。できる限りお手伝いします。
(回答者 工藤 充哉)

「こんなことも聞いてみたい」、「こんな時どうすればいいの？」等、御質問をお寄せください。本コーナーでできる限り取り上げたいと思っております。
事務局：石川（グループウェア内メール）またはメール ishijimu@h-osaki.jp、または用紙記載（形式自由）にてお寄せください。

編集後記

今回の母乳育児支援通信 Vol.5 は担当の本院 5 階のチーム構成員（副看護師長）の協力で、小児科病棟紹介「小児科未熟児室」を中心に掲載させていただきました。

これからも、母乳育児の基礎知識や役に立つ情報等を皆様に紹介してまいりたいと思っております。掲載希望内容・御質問等ございましたら、事務局までグループウェアメールまたは用紙（形式自由）にてお寄せください。

次回、Vol.6 は来年 5・6 月頃にチーム構成員（栄養管理室）が担当し発行する予定しております。では、次号の紙面でお会いできるのを楽しみに・・・。（事務局（主担当）：石川 恵美子）

Information

♥ 平成 25 年 10 月 5 日(土)～6 日(日)(福島県郡山市) 一般社団法人日本母乳の会主催「第 7 回母乳育児支援研修会」に参加いたしました。BFH の認定を目指し、看護部 9 名、事務 1 名が 2 日間の研修に励みました。

♥ 平成 25 年 10 月 19 日(土) 13:30～16:30、「NPO 法人みやぎ母乳育児をすすめる会 設立 20 周年記念フォーラム」(仙台市) に出席し、懇親会にて BFH への決意表明をいたしました。

♥ 平成 25 年 11 月 30 日(土) 9:00～13:00 職員を対象とした「第 1 回母乳育児支援を進めるワークショップ」を開催いたしました。参加者：28 名（医師：4 名、看護師：13 名（うち助産師：5 名）、薬剤師 3 名、臨床検査技師 2 名、管理栄養士：3 名、事務：3 名）
→当日の DVD を御用意しており、貸出し可能です。

♥ 平成 26 年 2 月 9 日(日) (仙台市) 第 34 回宮城県母性衛生学会学術集会・第 17 回宮城県委託周産期医療研修会にて当院の人工乳補足の現状と母乳育児支援の見直しについて一般演題発表をいたしました。

♥ 平成 26 年秋に、当チーム主催の「母乳育児に関する講演会」開催を予定しております。

♥ 平成 26 年末に当チーム主催の連携医療機関等も対象とした「第 2 回母乳育児支援を進めるワークショップ」開催を予定しております。日程・内容等が決まり次第お知らせいたします。御参加のほどお願い申し上げます。

♥ 院外の方（一般の方も含む）を対象とした母乳育児支援啓蒙活動の会の開催も予定したいと思っております。

この「information」コーナーでは、母乳育児に関するセミナーやシンポジウム等の開催情報等を適時御連絡いたします。

☆大崎市民病院母乳育児支援を進めるチーム☆

チーフ	工藤 充哉	(第一小児科科長)
チーム員	豊田 文爾	(第一歯科口腔外科科長)
//	星合 哲郎	(第二産婦人科科長)
//	鳴海 僚彦	(第一小児科副科長)
//	村上 紀代恵	(本院 3 階病棟看護師長)
//	二瓶 育枝	(本院 5 階病棟看護師長)
//	高橋 裕子	(本院 3 階病棟副看護師長)
//	三浦 たつえ	(本院 5 階病棟副看護師長)
//	佐藤 恵	(本院 5 階病棟主任看護師) (新生児集中ケア認定看護師)
//	荒井 美子	(本院外来主任助産師)
//	佐藤 祥子	(本院 3 階病棟助産師)
//	小原 みづえ	(本院 3 階病棟助産師)
//	澤田 優美	(本院 3 階病棟助産師)
//	大鹿 美那子	(本院外来看護師)
//	阿部 明子	(本院外来看護師)
//	鈴木 さとみ	(薬剤室薬剤師)
//	尾形 知美	(薬剤室薬剤師)
//	藤田 あい	(栄養管理室管理栄養士)
事務局	高橋 茂樹	(診療支援室長)
//	寺島 孝敬	(診療支援係長)
//	石川 恵美子	(診療支援係主査)

*参加してみたいという職員の方、大歓迎です！
資料の準備上、前日までに連絡をお願いします。
*皆様の御参加、御意見をお待ちしています！
*次回の会議：平成 26 年 5 月または 6 月に開催予定